広報よねざわ　2015年7月1日号

城下町ぶらり 続 歴史探訪

滝の水を浴びながら佇（たたず）む3体の石像

滝の下には、凛（りん）とした姿の不動尊

第９回

大滝沢不動尊（おおたきざわふどうそん）

（大字関根）

今回は、山上地区関根の大滝沢不動尊を訪ねてみました。湯の沢温泉「時の宿すみれ」裏の細道を山に向かって5分程歩くと、高さ約30ｍの滝（大滝）があり、その滝の中段と下段には、不動尊像が祀られています。

滝の中段にある3体の不動尊

不動尊の創立由来は不詳ですが、関根の赤石川集落の鎮守として昔から信仰されてきました。滝から流れる水は集落の飲料水となり「眼病に効く」「健康に良い」とも言われています。

春の祭礼日は5月8日、秋の祭礼日は9月8日で、幟旗（のぼりばた）が立てられ、普門院の住職によるご祈祷が行われています。以前は、滝左側の山の中腹に奥宮（おくのみや）があり、そこまで登って祭礼を行っていました。現在は、危険なことから滝の下の平地で行っているようです。

大滝の中段には3体の不動尊の石像が安置されています。目を凝らすと滝を流れ落ちる水の中に、その姿を見ることができます。どのようにして滝の中段まで運んだのでしょうか。地元の言い伝えによると「一体は誰々家の先祖が不動尊を深く信仰し、背負ってお運びしたもの」とのことです。もう一つは市内の信仰者が浄財を募って寄進したと伝わります。また、別の地区の家にも先祖が背負って運んだという話が残っているようです。

滝の下段のブロンズ製不動尊

昭和54年の秋、滝下段の岸に新たな不動明尊が建立されました。高さは等身を上回る2・4ｍ、重さは約400kgに及ぶブロンズ製で、荘厳な姿で立っています。市内で食肉店を営み、すみれ荘（現在の「時の宿すみれ」）を開いた黄木林次郎（おおきりんじろう）氏が中心となって寄進した像です。11月8日に米沢市長や黄木氏、地元住民が参集して盛大に開眼法要が行われました。

米沢も夏を迎えようとしています。緑鮮やかな木々に囲まれた美しい滝。その中に涼しげに佇む3体の不動尊。皆さんも探してみるのはいかがでしょうか。

表紙解説

恋の始まりは、このまちから

この日、市役所に婚姻届を提出した皆川さんご夫婦。今日は5年前に結婚を約束した記念日とのこと。「夫婦初めての共同作業だね」と笑顔で撮影に応じてくれました。これからもこのまちで、たくさんの思い出をつくっていってくださいね。（6月16日撮影）

平成27年7月1日発行　No.1475
発行：米沢市　編集：企画調整部秘書広報課
〒992-8501 米沢市金池五丁目2番25号☎0238-22-5111　印刷：㈱青葉堂印刷